甲賀市監査委員告示第6号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づき財政援助団体の監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり公表する。

令和6年12月18日

甲賀市監査委員 山本 哲雄

甲賀市監査委員 瀬古 幾司

令和6年度財政援助団体監査結果報告書

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、市が補助金等の財政的援助を与えている団体の当該財政的援助に係る出納その他の事務の執行が目的に沿って行われているかについて監査を実施した。

1 監査の対象及び所管課

今回、監査を実施した団体は「信楽焼振興協議会」及び「和太鼓サウンド夢の森実行委員会」の2団体を選定し、次の表に掲げる補助金について監査を実施した。

団体名	監査の範囲	所管課
信楽焼振興協議会	令和4・5年度信楽焼振興協議会運営補助	産業経済部 商工労政課
和太鼓サウンド夢の森実行委員会	令和5年度和太鼓サウンド開催補助	教育委員会事務局 社会教育スポーツ課

2 監査の期間

団体名	監査実施日	事前審査実施日
信楽焼振興協議会	令和6年10月22日(火)	令和6年10月9日(水)
和太鼓サウンド夢の森実行委員会		令和6年10月15日(火)

3 監査を実施した委員

甲賀市監査委員 山本 哲雄

甲賀市監査委員 戎脇 浩

4 監査の方法及び着眼点

監査の実施にあたっては、「甲賀市監査基準」に準拠し、次の項目を主な着眼点として、団体及び所管課から関係書類の提出を求め、各種書類を確認するとともに、実地監査による関係書類の閲覧や団体及び所管課から説明の聴取を行うなどの方法により実施した。

(1) 主な着眼点

ア 団体関係

- ① 交付された補助金が、計画及び交付条件に従って適正に執行されているか。
- ② 事業計画書、予算書及び決算諸表等と所管課へ提出した補助金の交付申請や交付請求、実績報告等は符合するか。
- ③ 会計経理・財産管理は適正に行われているか。
- ④ 会計諸帳簿の整理・記帳は適正に行われているか。また、領収書等の証拠書類の整理・保存は適切か。

イ 所管課関係

- ① 補助金の決定は補助金交付要綱に適合しているか。
- ② 補助金交付団体への指導監督は適切に行われているか。

(2) 主な確認書類

ア 団体関係

- ① 事業計画書及び収支予算書
- ② 事業報告書及び収支決算書
- ③ 組織図、規約
- ④ 経理規程等諸規定
- ⑤ 市補助金の受け入れ及び経理状況等の関係書類
- ⑥ その他関係諸帳簿等

イ 所管課関係

- ① 補助金交付要綱に基づく関係書類

5 団体の概要

(1) 信楽焼振興協議会

所在地	甲賀市信楽町勅旨 2 1 8 8 - 7 信楽産業展示館内
設立	昭和 5 7 年

目的	信楽焼の振興を図るため必要な事業を行い、産業の発展に寄与する。
役員	会長1人、副会長2人、理事8人、監事3人
構成	信楽陶器工業協同組合、信楽陶器卸商業協同組合、甲賀市、公益財団法人滋賀県立陶芸の森、滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場、甲賀市商工会信楽支部、信楽町観光協会、企画事業委員会

(2) 和太鼓サウンド夢の森実行委員会

設立	一般財団法人(現在「公益財団法人」)甲賀創健文化振興事業団が実施していた事業であったが、平成10年度から実行委員会が設立され、事業を引き継いで実施されている。
目的	青少年の育成、伝統文化の継承、地域の文化の振興と活性化につなげるため、甲賀町の鹿深夢の森を会場として和太鼓の祭典を実施。 令和5年度開催日 8月26日(土) 入場者数 1,032人
実行委員会	24人(委員長、副委員長、会計、監事 各1人ずつ含む)

6 監査対象の補助金交付状況

(1) 信楽焼振興協議会

補助金の内容等	根拠	交付額	
		令和4年度	令和5年度
信楽焼振興協議会運営補助 【内容】 信楽焼の振興とブランド構築を目的に展示会の開催と広報活動を行い、地場産業の活性化を図る。 【補助金額】 事業を推進するに当たって必要な経費の内、事業費及び管理費の2分の1、人件費の3分の2及び流通対策事業経費の10分の10を合算した金額で、予算額を超えない範囲。	甲賀市陶業振興事業補助金交付要綱	6,363,000円	3,185,404円

(2) 和太鼓サウンド夢の森実行委員会

補助金の内容等	根拠	交付額	
		令和4年度	令和5年度
和太鼓サウンド開催補助 【補助基準】 市民の創作和太鼓団体による、和太鼓の祭典の開催に補助する。 【補助対象経費】 報償費・旅費・需用費・役務費・使用料及び賃借料	甲賀市社会教育振興事業補助金 交付要綱	—	2,500,000円

7 監査の結果及び所見

(1) 信楽焼振興協議会

信楽焼振興協議会の財政的援助に係る出納及びその他の補助金手続き事務について、上記の通り監査した限りにおいて、補助目的及び計画に沿っておおむね適正に行われているものと認められた。

なお、指摘事項には至らないが、団体及び所管課に対する改善を要する事項、改善が望まれる事項は次のとおりである。

当該団体の役員会等の議事録の作成が全く無いため、今後は作成を行い、意思決定の透明性を確保されたい。海外販路開拓事業が令和5年度に一旦中止された経緯もあり、今後は、戦略・戦術を整え直し、効果的な事業展開をされることを期待する。

所管課に対しては、当該団体の保有基金の状況、収支や資産の関係資料を精査し、補助金の交付目的、効果等を適正に判断され、補助金額の算定を検討されたい。また、当該団体の自主自立に向けたサポート体制について再考に努められたい。

(2) 和太鼓サウンド夢の森実行委員会

和太鼓サウンド夢の森実行委員会の財政的援助に係る出納及びその他の補助金手続き事務について、上記の通り監査した限りにおいて、補助目的及び計画に沿って適正かつ効果的に行われているものと認められた。また、所管課による補助金交付手続きは適正に行われているものと認められた。

なお、指摘事項には至らないが、団体及び所管課に対する改善を要する事項、改善が望まれる事項は次のとおりである。

実行委員会が組織されているが、会議録を保存されたい。また、監事が1名であるため、複数の監事選任が望ましい。

所管課に対しては、当該団体が自ら収益を上げることができる仕組みを構築していくことが望まれるため、自立に向けた支援をされたい。